

# アート 2024

青山悟  
美術家

井關悠  
水戸芸術館現代美術センター 学芸員

遠藤薫  
美術家

小沢剛  
美術家 / 東京芸術大学 美術学部 先端芸術表現科教授

兼松芽永  
芸術の人類学研究

河上直衣  
小金井市立はげの森美術館 学芸員

沢山遼  
美術批評

白坂由里  
アートライター

中尾拓哉  
美術評論家 / 芸術学

畠山直哉  
写真家 / 東京芸術大学 大学院 映像研究科教授

柘田倫広  
東京国立近代美術館 主任研究員

百瀬文  
美術家

森弘治  
美術家

森田浩彰  
美術家

## 清澄白河の アートスクール

# 6月開講

### お申込方法

アートのホームページからお申し込みいただくか、件名を「スクール申込」とし、コースあるいはクーポン名、住所、氏名、年齢、電話番号、希望する受講料のお支払い方法（銀行振込またはクレジットカード払い）をご記入の上、school@artto.jp までメールをお送りください。受付後、受講料のお支払いと受講に関するご案内をメールでお知らせします。原則として、お申込完了後の変更、キャンセルおよび返金は受け付けておりません。あらかじめご了承ください。

### お申込開始と締切 開始：2024年3月25日(月)

「オールラウンダー」「セミ・オールラウンダー」	5月27日(月)
基礎コースの「アートヒストリー(AH)」「アーティスト(Ar)」「ライティングA(WrA)」「リーディングW(ReW)」	5月27日(月)
基礎コースの「ライティングB(WrB)」「リーディングG(ReG)」「リーディングR(ReR)」	9月2日(月)
視点のプールのクーポン	11月25日(月)

※受講資格は特にありません。アートに関心があれば、どなたでも受講することができます。表示されている受講料は、消費税込みの金額です。掲載している情報は、2024年2月現在のものになります。レクチャーのテーマや内容、スケジュール、講師は変更される場合があります。あらかじめご了承ください。アートスクール2024の視点のプールクーポン有効期限は、2024年12月末日になります。視点のプールのクーポンは、第三者へ譲渡して使用することはできません。

### 受講方法・受講料

#### ① 基礎コース+視点のプール(各コース3パターンあります) ② 視点のプール

#### ③ 「オールラウンダー」(すべて受講可) / 「セミ・オールラウンダー」(基礎コースの「アーティスト(Ar)」を除くすべて受講可)

※①は複数選択可能です。/ 基礎コースのみでの受講は、受け付けておりません。/ ①をお申込みの時点で、視点のプールを15あるいはすべて受講希望の方は、受講料について別途お問い合わせください。/ ②の視点のプールをすべて受講希望の方は、受講料について別途お問い合わせください。/ ③を受講する方は、ライティングAかBのいずれかをお選びください。

	コース/クーポン名	レクチャー数	受講料	定員
① 基礎コース+視点のプール	アートヒストリー +2	18 (コース16+視点2)	¥116,160	15名
	アートヒストリー +5	21 (コース16+視点5)	¥132,000	
	アートヒストリー +10	26 (コース16+視点10)	¥158,400	
	アーティスト +2	16 (コース14+視点2)	¥121,440	10名
	アーティスト +5	19 (コース14+視点5)	¥137,280	
	アーティスト +10	24 (コース14+視点10)	¥163,680	
	ライティング A/B +2	9 (コース7+視点2)	¥56,760	各8名
	ライティング A/B +5	12 (コース7+視点5)	¥72,600	
	ライティング A/B +10	17 (コース7+視点10)	¥99,000	
	リーディング W/R +2	8 (コース6+視点2)	¥50,160	各10名
	リーディング W/R +5	11 (コース6+視点5)	¥66,000	
	リーディング W/R +10	16 (コース6+視点10)	¥92,400	
	リーディング G +2	7 (コース5+視点2)	¥43,560	10名
リーディング G +5	10 (コース5+視点5)	¥59,400		
リーディング G +10	15 (コース5+視点10)	¥85,800		
② 視点のプール	視点のプール クーポン3	3	¥19,800	—
	視点のプール クーポン5	5	¥33,000	
	視点のプール クーポン10	10	¥66,000	
	視点のプール クーポン15	15	¥99,000	
③	セミ・オールラウンダー	56	¥295,680	—
	オールラウンダー	70	¥354,200	

### 説明会とミニレクチャー

アートスクールやコース、レクチャーの概要や特徴について説明した後、小澤慶介によるミニレクチャーを行います。場所やレクチャーの雰囲気などについて知りたい方は、ぜひご参加ください。

6月開講の基礎コース	4月	21日(日) 10:00~11:30 26日(金) 19:15~20:45 28日(日) 10:00~11:30
	5月	10日(金) 19:15~20:45 12日(日) 10:00~11:30 26日(日) 10:00~11:30
	8月	17日(土) 15:00~16:30 24日(土) 15:00~16:30
9月開講の基礎コース		

説明会へのお申込は、件名を「説明会」とし、ご希望の日時、住所、氏名、年齢、電話番号をご記入の上、school@artto.jp までメールをお送りください。各回、定員は10名になります。



<https://artto.jp/>

各コース・レクチャーの詳細スケジュールは、アートのHPでご確認ください。



### お問合せ・お申込先

一般社団法人アート  
〒135-0005  
東京都江東区高橋7-5 酒井ビル2F  
Tel: 03-6659-5379  
E-mail: school@artto.jp  
URL: <https://artto.jp/>

アート / artto

# アートスクール 2024

※レクチャーは、対面で行います。

現代アートはこの全体を捉えがたい世界にどう関わり何を表すのかについて、プロフェッショナルとともに考えます。終わらない戦争、上昇する地球の平均気温、度重なる自然災害、加速する観光産業、地域社会のブランディングや再生、性の多様性など、アートはこうした動きと無関係ではありません。この地球上のあちらこちらで起こっていることを覆い隠してしまうのではなくむしろ豊かに照らし出す作品や展覧会、議論、現象を追いながら、同時代の世界の輪郭を少しずつとらえます。2024年度は、7つの基礎コースと選択制の視点のプール16レクチャーを開講します。



各コース・レクチャーの詳しいスケジュールは、アートのHPでご確認ください。  
<https://artto.jp/>

## 基礎コース アートヒストリー(AH)

定員15名

3・4・5回目は 沢山遼  
13回目は 榊田倫広 が担当します。

全16回

2024年6月～2025年1月 土曜日 13:00～15:00 ※フォーラムは、16:00～18:00

「アートとは何か?」という問いに向き合い掘り下げながら多角的に考えるため、過去200年のアートの歩みを概観します。キーワードは、表象と同時代性。近代社会の成立、複製技術時代の到来、二つの世界大戦、資本主義の世界化などの社会的な変化とともに、アートはその時代をどう切り取って表象したのでしょうか。レクチャーは、小澤慶介のほか沢山遼や榊田倫広を担当します。現代アートに至る流れや現代アートに関する基礎的な知識を学びたい方であれば、どなたでもご参加いただけます。

- |                                 |                            |
|---------------------------------|----------------------------|
| 1 美術館のはじまり、アートのはじまり             | 8 フォーラム1                   |
| 2 芸術はいつ現代アートになったのか              | 9 彫刻からインスタレーションへ           |
| 3 絵画のリアルとは何か<br>ーロマン主義から抽象表現主義へ | 10 パフォーマンスが芸術になるとき         |
| 4 人間の外を表象する<br>ーダダ、シュルレアリスムの芸術  | 11 表現の自由はどこに<br>ー戦後日本の前衛芸術 |
| 5 ヨーロッパからアメリカへ移る前衛芸術            | 12 1990年代のアートと西洋的なものへの疑い   |
| 6 写真術の到来と芸術の地殻変動                | 13 国境を越えるアーティストと絵画の可能性     |
| 7 イメージを疑え<br>ー映像文化とスペクタクルの社会    | 14 グローバリゼーションと多文化主義の時代     |
|                                 | 15 新自由主義の波と二極化するアート        |
|                                 | 16 フォーラム2                  |

## 基礎コース リーディング

各定員10名

歩くことがアートになるとき(ReW)

全6回

2024年6月～8月  
火曜日 19:15～21:15

歩くことは表現への第一歩であるということについて、著述家のレベッカ・ソルニットや人類学者のティム・インゴルドのテキスト、またフランシス・アリスなどのアーティストの実践をとおして考えます。情報端末やサービス、発達した交通網や機器によって、歩くことから遠ざけられている現代、自らの足で世界に出会うことから表現の可能性を考えます。すべての回は小澤慶介が担当します。

アート、モノをめぐる思考とゲーム(ReG)

全5回

2024年10月～12月  
火曜日 19:15～21:15

人間とモノの関係は、いかにアートになるのでしょうか。マルセル・デュシャンが芸術を視覚から言語の領域へ、またシュルレアリストたちが偶然性や無意識へと関心を向けたとき、彼らはモノをどう意識し扱ったのでしょうか。既製品をめぐる展開するアートについて、実際に手を動かしながら彼らの作品を支える考えをさぐります。すべての回は 中尾拓哉 が担当します。

関係性をめぐるアートの30年(ReR)

全6回

2024年9月～11月  
水曜日 19:15～21:15

1990年代から現在までの、人・モノ・場をめぐる関係をモチーフにした芸術的実践を追います。アートからはじまった議論も、今では人類学の領域へと広がっています。ニコラ・プリオーをはじめティム・インゴルドなどのテキストにも触れ、関係性をめぐるアートの変容と可能性について考えます。前半を小澤慶介、後半を 兼松芽永 が担当します。

## 基礎コース ライティング A/B

各定員8名

各全7回

ライティングA(WrA) 2024年6月～8月 水曜日 19:15～21:15  
 ライティングB(WrB) 2024年9月～12月 日曜日 14:00～16:00

※ライティングA、Bの違いは開講日時です。構成と内容は同じになります。

作品や展覧会を見て考えたこと、またふだん考えたり疑問に思ったりしていることを文章にして伝える方法を学びます。時間をかけて見て、気づいたことを整理し、わかりやすい言葉で書きます。自らの思考と言葉で複雑な現代アートの表現をとらえたい方やアーティストなどにもおすすめです。すべての回は小澤慶介が担当します。

- 1 作品のレビューを書く
- 2 作品の成立背景を調べる
- 3 展覧会のレビューを書く
- 4 展覧会のタイトル、テーマ、作品の関係を読み解く
- 5 モヤモヤを言葉にして企画を考える
- 6 企画を言葉にして伝える
- 7 発表とまとめ

## オールラウンダー セミ・オールラウンダー

オールラウンダーはアートスクール2024の70レクチャーをすべて、セミ・オールラウンダーは「アーティスト(Ar)」を除く56レクチャーを受講することができます。国内外の美術系大学院への準備などで、アートの理論や歴史だけではなく、近年話題になっている展覧会や議論、現象、運動などについて短期間で体系的かつ網羅的に学びたい方におすすめです。

## 基礎コース アーティスト(Ar)

定員10名

全14回

2024年6月～2025年1月 日曜日 10:00～12:30 ※プレゼンテーションの回は9:30～12:30

この時代や社会において表現することの動機を客観的にとらえ、作品へと展開する方法についてディスカッションとプレゼンテーションをとおして学びます。なんとなく作るのではなく、なぜ作るのかを意識しながら思考と表現のつながりを確かなものにします。受講資格は特になく、作品を制作していればどなたでも受講することができます。すべての回は、美術家の 森弘治 と小澤慶介によって行われます。一部で美術家の 森田浩彰 をゲストに迎えます。

同時代とリアリティ

- 1 作品のプレゼンテーション
- 2 制作動機と表現についての自己分析
- 3 同時代のリアリティをさぐる WS
- 4 同時代のリアリティから表現を考える
- 5 表現から作品を考える
- 6 作品のボディーを構成する要素を考える
- 7 新作のプレゼンテーション WS ワークショップ

「空間」への展開

- 8 「空間」から作品を考える
- 9 空間を読み解く力をつける WS
- 10 空間を成立させている要素から作品を検討する
- 11 作品から展示空間へ
- 12 作品と展示空間の質を高めるために
- 13 新作のプレゼンテーション
- 14 自立したアーティストになるために

## 選択制レクチャー 視点のプール

全16回

土曜日開講 16:00～18:00 (一部例外あり) 日曜日開講 14:00～16:00 (一部例外あり)

視点のプールは、現代アートと同時代の関係について、一歩踏み込んで考えるための選択制レクチャーです。

現代アートの現場に携わるプロフェッショナルによる、4つの視点16レクチャーを開講します。※視点のプールのみの受講もできます。

【アートの実践】

美術館へ行く

小澤慶介

アーティストが考えるアートとは

青山悟

キュレーター視点、思考、仕事

井関悠

アートとその現場を伝える足を運ぶこと 聞き取ること

白坂由里

【表象の不誠実さを超えて】

「アート」にのみこまれてしまわないように

遠藤薫

ゲルハルト・リヒターのドローイングについて

榊田倫広

戦争の時代と現在を芸術で結びなおすこと

河上直衣

私の風景と写真術

畠山直哉

【関係性とアートの実践】

溶け合うアイデンティティと見知らぬ私

百瀬文

なぜ、いま、東京藝大でやぎなのか

小沢剛

アートにおける関係性を再考する

小澤慶介

アナ・メンディエタのエコノミー

沢山遼

【時代の転換期と芸術】

第一次世界大戦が芸術に落とした影

小澤慶介

コレクティブが開くアートの可能性

小澤慶介

エコロジーとアートの実践

小澤慶介

自由を求めて大正時代と芸術

小澤慶介

## ■ アート/arttoとは?

2016年6月に清澄白河にて開校した現代アートのスクールです。同時代と近い未来を表すといわれている現代アートには、この変わりゆく世界を読み解くヒントがたくさんあります。アートの現場に行き、見て、語り合い、アートとこの世界の結び目をさまざまな角度から考えます。現代アートのスクールのほか、ヨガクラスも開いています。

ディレクター

小澤慶介 (一般社団法人アート代表理事、インディペンデント・キュレーター)

1971年生まれ。ロンドン大学ゴールドスミスカレッジ美術史修士課程修了。2017年に一般社団法人アートを設立。これまでに「十和田奥入瀬芸術祭 SURVIVE この惑星の時間旅行へ」や「六本木クロッシング2016展 僕の身体、あなたの声」(森美術館)など数々の展覧会や芸術祭にてキュレーターを務めている。現在、アーティスト・イン・レジデンス事業アークス・プロジェクトのディレクター、法政大学兼任講師を兼務している。